

ケアポート板橋

腰本 野々子(介護職/東坂下高齢者在宅サービスセンター)

- 功 績 ご自宅でのBPSDに苦慮するご家族様の小さな声に気づき支援に取り組んだ結果、心を豊かに輝きをもたらした功績。
- 推 薦 者 宇津木 忠
- 推 薦 理 由 理念の一部である関わるすべての人の心を豊かにし、輝きをもたらした取り組みであり、理事長賞に値すると思ひ推薦させていただきます。

内 容

ご利用者A氏のご家族は利用開始から10年間、お迎えの際ご本人の引き渡しだけで話も無く、直ぐにドアを閉めてしまうような方でした。

今年の終わりごろからA氏の認知症状の進行が進み、金銭の執着などから朝の準備が困難な状況が続いていた事を、今月初めて愚痴を漏らすように腰本に話してくださいました。腰本は、その些細な一言を聞き流さずスタッフ間で情報共有し、フロアで対策を立てました。

慣れ親しんだ職員の写真が入った朝の準備の手順書を作成したり、A氏のこだわりを緩和できるような関わり方をご家族にレクチャーしたり、朝のお迎えも余裕が持てるよう時間の調整をしました。

連絡帳にも次回利用時に金銭の必要が無い旨をメッセージに残すなど、効果は直ぐ現れ翌日にも感謝の言葉を頂きました。

この対応以降、ご家族の表情も明るく変わり、送迎の際は職員に声を掛けて下さるようになり、今まで見たこともないような笑顔を見せてくださるようになりました。

担当のケアマネジャーもその様子を見るため頻繁に顔を出され、朝の準備や送迎の様子に驚かれると共に、ご家族の関わり方が軟化したため訪問しやすくなったと喜んでくださり、関わる全ての方に好影響をもたらすことが出来ました。